

砂糖の国内生産

砂糖は、さとうきびやてん菜からつくられています。さとうきび、てん菜の生産は、鹿児島県南西諸島、沖縄県そして北海道の地域経済・雇用の確保に重要な役割を果たしています。



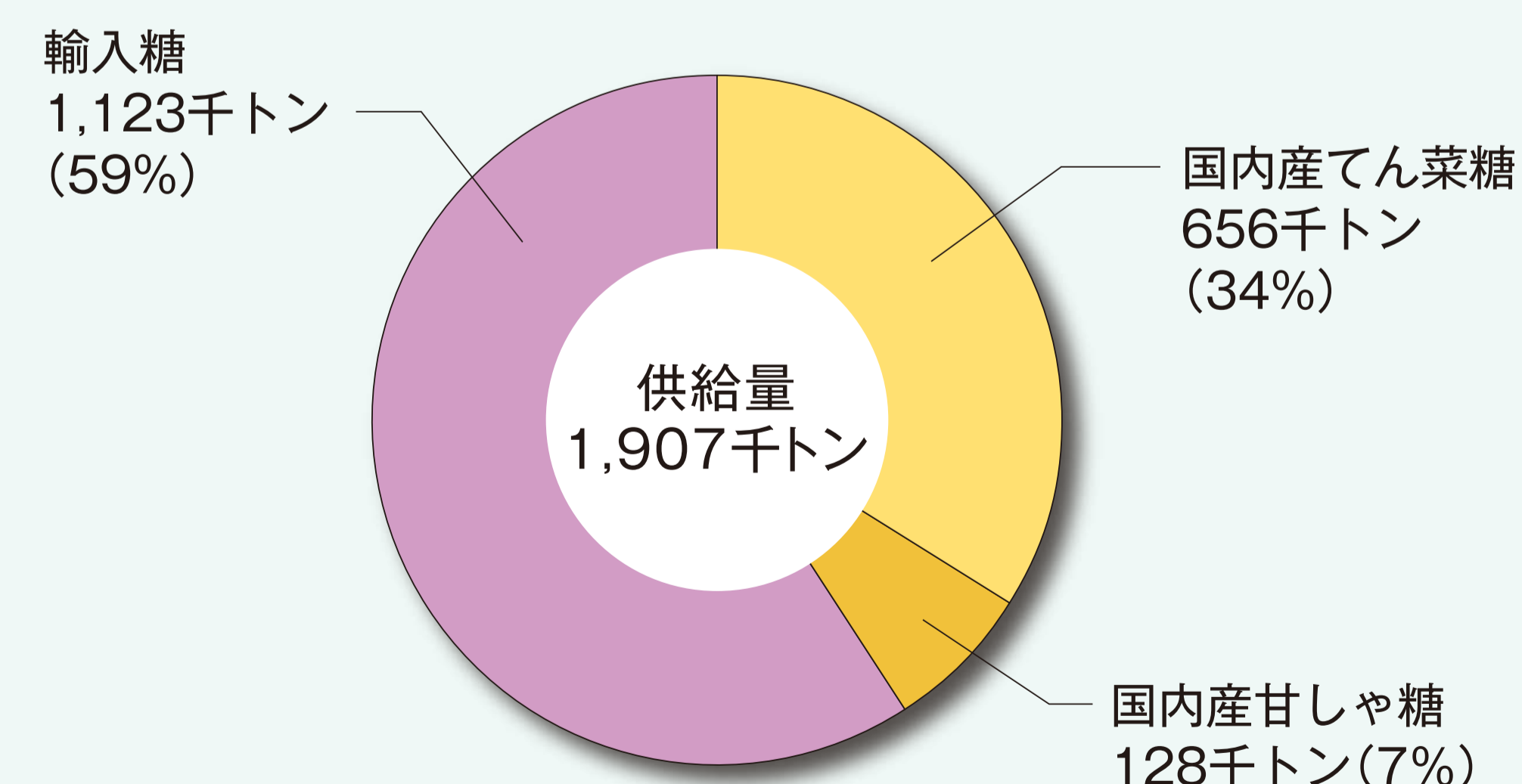
日本の砂糖の自給率はどれくらいですか？

ANSWER

日本の砂糖の消費量は約190万トンであり、このうち約4割が日本国内で生産されたさとうきびやてん菜を原料にしてつくられています。残りの約6割は海外から輸入した粗糖が、日本の工場で精製され、つくられています。平成29年産(平成29年10月~30年9月)の砂糖の自給率は41%です。

また、日本の食料全体の自給率は平成29年度で38%、このうち砂糖は2.5%分を担っており、主食のコメ(21.2%)、畜産物(2.7%)に続き、食料自給率への寄与度が高い品目となっています。

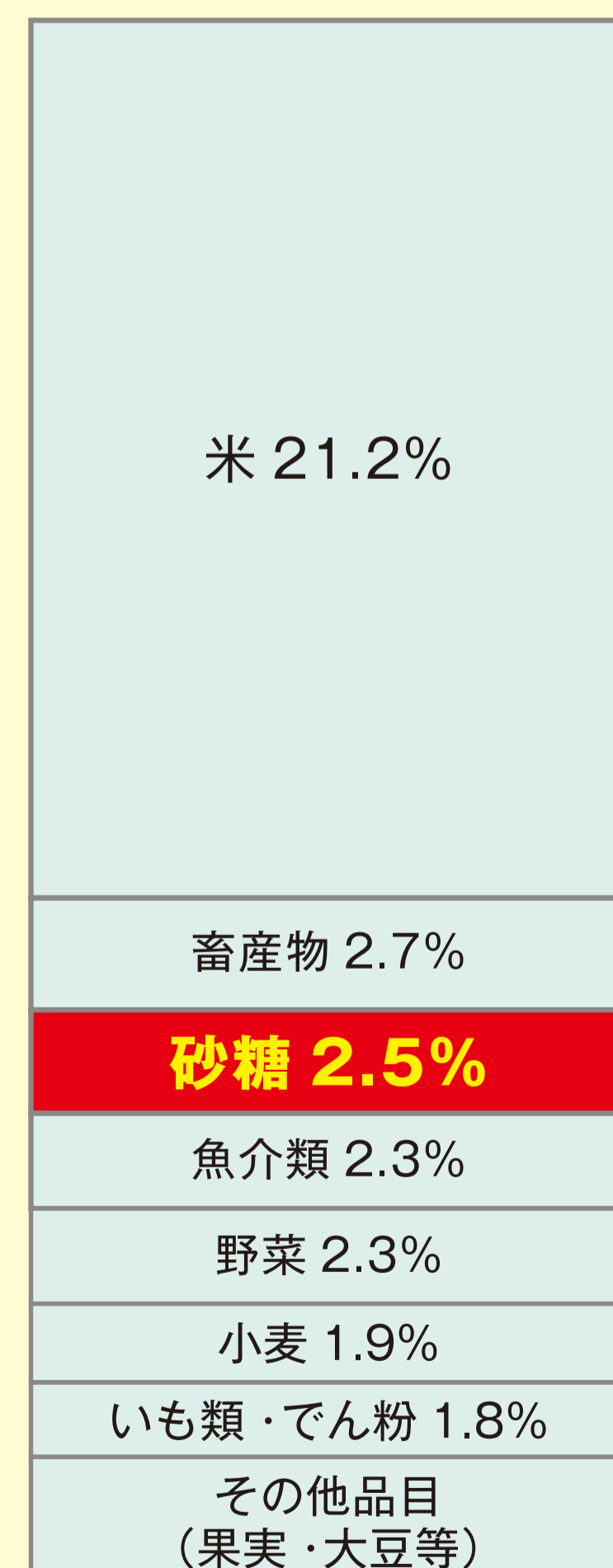
砂糖の国内供給量(平成29年産)



出典:農林水産省地域作物課調べ



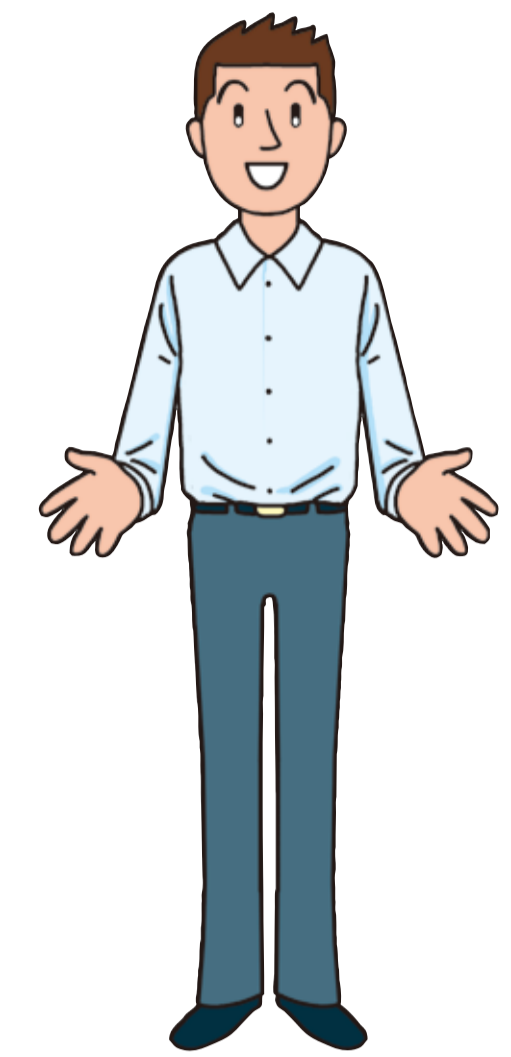
食料自給率38%における品目別寄与度(カロリーベース)



出典:農林水産省「食料需給表」(平成29年度)



砂糖の原料になるさとうきびとてん菜は、日本のどこでつくられているのですか？



alic
独立行政法人 農畜産業振興機構

ANSWER(さとうきび)

さとうきびは暖かい気候を好むため、日本では鹿児島県の南西諸島や沖縄県の島々で栽培されています。

鹿児島県南西諸島・沖縄県の農家の約69%(約2万2千戸)がさとうきびを栽培しています。さとうきびの栽培面積は畑の面積の約44%(約2万8500ha)を占め、農業産出額の約30%を占めています。

さとうきびの位置づけ(平成29年産)

	栽培農家(戸)	栽培面積(ha)	農業産出額(億円)
鹿児島県南西諸島	7,532(65%)	11,100(42%)	107(30%)
沖縄県	14,267(71%)	17,400(46%)	168(31%)
計	21,799(69%)	28,500(44%)	275(30%)

出典:農林水産省地域作物課調べ。

()内はそれぞれの地域の農家数、畑面積、耕種部門産出額に占める割合。



ANSWER(てん菜)

てん菜は寒冷な気候を好むため、日本では北海道で栽培されています。

北海道の畑作農家の約18%(約7千戸)がてん菜を栽培しています。てん菜の栽培面積は畑の面積の約14%(約5万8200ha)を占め、農業産出額の約8%を占めています。

てん菜の位置づけ(平成29年産)

	栽培農家(戸)	栽培面積(ha)	農業産出額(億円)
北海道	7,010(18%)	58,200(14%)	459(8%)

出典:農林水産省地域作物課調べ。

()内は北海道における農家数、畑面積、耕種部門産出額に占める割合。

